

NEWS LETTER
報道関係者各位

2014年12月2日
三井不動産レジデンシャル株式会社
三井不動産レジデンシャルサービス株式会社
サステナブル・コミュニティ研究会

～「マンション・コミュニティ」という視点からマンションの未来を語るシンポジウム～
「Mirai Mansion Meeting」11月26日開催
有識者・一般参加者 340人とともに考えたマンションのイノベーション

三井不動産レジデンシャル（東京都中央区銀座 代表取締役社長：藤林清隆）および、三井不動産レジデンシャルサービス（東京都新宿区西新宿 代表取締役社長：岩田龍郎）は、マンションの未来について語るシンポジウム「Mirai Mansion Meeting」を2014年11月26日（水）に開催しました。約340人の来場を迎え、『未来の都市をマンションから考える』『マンションの新しい捉え方』『ミライ・マンション・ミーティング』の3つのセッションを行いました。



【SESSION1】 『未来の都市をマンションから考える』

このセッションでは、都市問題を最前線で説く建築家 藤村龍至氏、三井不動産レジデンシャル代表取締役社長 藤林清隆、三井不動産レジデンシャルサービス代表取締役社長 岩田龍郎が、マンションにおけるコミュニティの可能性、そしてその未来について語りました。

【SESSION2】 『マンションの新しい捉え方』

チャイルドボディセラピストとして活躍する蛭原英里氏、ウルトラテクノロジストとして様々な分野でイノベーションを成し遂げているチームラボ代表の猪子寿之氏、社会問題に対してデザイン力で解決を試みる issue+design 代表の笈裕介氏が登壇し、新しいコミュニティの在り方について話し合われました。

【SESSION3】 『ミライ・マンション・ミーティング』

最後のセッションでは、グループごとに同じマンションの管理組合理事に選出されたというシナリオのもと、一般参加者の方々が、未来のマンションの形についてグループに分かれて話し合いました。

お問い合わせ先
三井不動産レジデンシャル株式会社 市場開発部商品企画グループ TEL:03-3246-3912

《各セッションの主な内容》

【SESSION1】 『未来の都市をマンションから考える』

このセッションでは、建築家の視点から藤村氏が、藤林社長、岩田社長に質問を行いました。

《コミュニティの経年優화는マンションの価値を高める》

藤村氏は三井不動産レジデンシャルグループが手掛けた、東京都板橋区のマンション「サンシティ」に言及し、「サンシティではクラブ活動など活発なコミュニケーションが自発的に行われていた。背景には何があるのか気になっている」と質問しました。藤林社長は「私たちの開発コンセプトは、経年優化的な考え方。マンション内でのクラブ活動が盛んになることで生活が充実し、住民間の協力体制が出来上がることで災害に強いマンションになる。そういったコミュニティが生まれる仕組みを組み込んでいる」と答えました。

《コミュニティ意識の高まりは震災が契機》

「昔は、マンション内でのコミュニティに対するニーズは高くなかったように思える。コミュニティに対する意識が変わってきているのはなぜか」という藤村氏。岩田社長は「以前は、プライバシーやセキュリティなどが重要視され、コミュニティと積極的に関わらないことが期待されていた。しかし、東日本大震災の影響もあり、マンションでのコミュニティ形成がより見直されてきた」と答えました。

【SESSION2】 『マンションの新しい捉え方』

このセッションは蛭原氏、猪子氏、笈氏のフリートーク形式で行われました。

《隣人から始めるコミュニティ形成》

今年出産された蛭原氏の「子育てを一人で行うことに不安があるが、ママ友会など、すでに完成されたコミュニティに入っていくのが難しい」という意見に対し、笈氏は「まずは隣人など、近いところと良い関係性を作って、そこから広げる方法がある」と、ドアノブにかけることができるメッセージカードの「ご迷惑おかけしますカード」を紹介しました。



《コミュニティから発想するマンション》

猪子氏は「今の時代はネットワークの進歩で、コミュニティへの帰属は量、質ともに深い。だからこそ、マンションの開発時点で、コミュニティに合わせたものを開発したらどうか」と述べ、「コミュニティのパワーが大きくなってきている現代ではニーズは必ずある」と続けました。

【SESSION3】 『ミライ・マンション・ミーティング』

一般参加者の方々が、お互いの理想のマンションについて意見を出し合うワークショップを行いました。本セッションでの活発な議論の結果、来場者アンケートでは本シンポジウムにおける参加者の約8割が「コミュニティを意識するようになった」と回答されました。

《ワークショップで提案されたアイデア》

- ・「フリーマーケットがあり、共有を楽しむマンション」
 - ・「子供同士のコミュニティが活発なマンション」
 - ・「子育て中の住民が集まり協力し合うマンション」
 - ・「復興支援ボランティアができるマンション」
- など。



◇ご参考

《開催概要》

名 称 : Mirai Mansion Meeting

日 時 : 2014年11月26日(水) 18:30~21:30

場 所 : 日本橋三井ホール

(〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1 COREDO 室町1・5F)

来 場 : 約340名

入 場 料 : 無料

主 催 : 三井不動産レジデンシャル株式会社

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社

サステナブル・コミュニティ研究会

《三井不動産レジデンシャル株式会社について》

三井不動産のグループ会社で、住宅分譲事業、販売受託事業を行います。住宅分譲事業では、中高層住宅事業と戸建住宅事業の二つの事業があります。販売・契約コンサルティング・アフターサービスを起点に、用地取得・企画開発・品質管理まで、一貫して手がけています。2013年度では住宅分譲戸数で7,282戸、住宅分譲収益で3,545億円です。販売受託事業では、三井不動産グループの総合力が活かしながら、これまで培った販売、情報、マーケティング、信頼、ネットワークの実績を結集し、商品企画から販売までのトータルなサポートを目指します。2013年度では取扱戸数で1,903戸、取扱高で1,267億円です。(URL:<http://www.mfr.co.jp/>)

《三井不動産レジデンシャルサービス株式会社について》

2014年4月1日、お客様のくらしを豊かにするサービスパートナーとなることを目指して、「三井不動産レジデンシャルサービス株式会社」に改称しました。40有余年にわたり、超高層マンション、大規模面開発マンションなど多彩なマンションのトータルマネジメントを行っております。現在、全国の当社グループにおいて約24万戸を管理しており、ハード面はもとより、三井不動産グループの「すまいとくらしのベストパートナー」という住宅事業のスローガンのもと、マンションご入居者サービスにおける「グループ連携強化」と「サービスの拡充・質的向上」を目指し、グループ一体となって安全で快適なマンションライフをサポートしています。

(URL:<http://www.mitsui-kanri.co.jp/>)

《サステナブル・コミュニティ研究会について》

三井不動産レジデンシャルが中心となって2011年に立ち上げたプロジェクトであり、アドバイザリーボード委員(有識者)や各種外部団体と連携しながら活動中。サステナブル・コミュニティ研究会では、東日本大震災以後の集合住宅のあり方としてコミュニティ内の共助・互助、周辺住民との連携により、環境・社会・経済面の様々な障壁を乗り越えて持続可能な地域をつくっていく「サステナブル・コミュニティ」がより重要なテーマになってくると考えています。具体的な取り組みとして、コミュニティ活動の支援施策「Park HOMES Greeting(入居あいさつ会)」等を進めています。(URL:<http://sustainable-community.jp/sc>)